

情報連絡員報告総括表(平成27年8月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

	売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 (臨時・パートを含む)			業界景況								
	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少	上 昇	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	好 転	不 変	悪 化	上 昇	不 変	悪 化	増 加	不 変	減 少	好 転	不 変	悪 化						
製 造 業	食 料 品		4			4	1	3			4			3	1		3	1		4			3	1		3	1						
	織 維 工 業	1		2		2	1	3			3			1	2		1	2		2	1		3			1	2						
	木 材 ・ 木 製 品			1		1			1			1			1		1				1		1				1						
	紙 ・ 紙 加 工 品			2		2		2			2			2			2				2		1	1		1	1						
	印 刷			1		1		1			1			1			1				1		1				1						
	化 学 ・ ゴ ム																																
	窯 業 ・ 土 石 製 品	3				3		3			3		1	2			3		2	1			3		1	2							
	鉄 鋼 ・ 金 属			1			1				1				1		1				1		1				1						
	一 般 機 器			3	2	1			3		2	1		1	2		3		1		2		3			1	2						
	電 気 機 器			1		1			1			1			1			1			1		1				1						
輸 送 機 器			1		1			1		1				1			1			1		1				1							
そ の 他																																	
小 計	4	4	12	2	16	2	1	17	2		17	3	1	7	12		15	5	3	7	10		18	2	1	8	11						
非 製 造 業	卸 売 業		1	1		2	1	1			2			2			2		X				2			1	1						
	小 売 業	4	1	1		4	2	3	2	1		3	3	1	3	2		4				2			6			1	3	2			
	商 店 街	1			1				1			1			1			1							1				1				
	サ ー ビ ス 業	1	3	1	X			1	4			5		1	3	1	1	3				1				2	3		1	4			
	建 設 業	1	2	1					4		1	3		1	3		1	3					1	3					4		1	3	
	運 輸 業		1						1			1		1			1						1						1			1	
	そ の 他		1						1			1		1			1						1						1			1	
小 計	7	9	4	1	6	2	5	14	1	1	16	3	4	13	3	2	15	3				3	17		3	14	3						
合 計	11	13	16	3	22	4	6	31	3	1	33	6	5	20	15	2	30	8	3	7	10	3	35	2	4	22	14						

最近の主要指標の前年同月比D I の推移

(平成26年8月～平成27年8月)

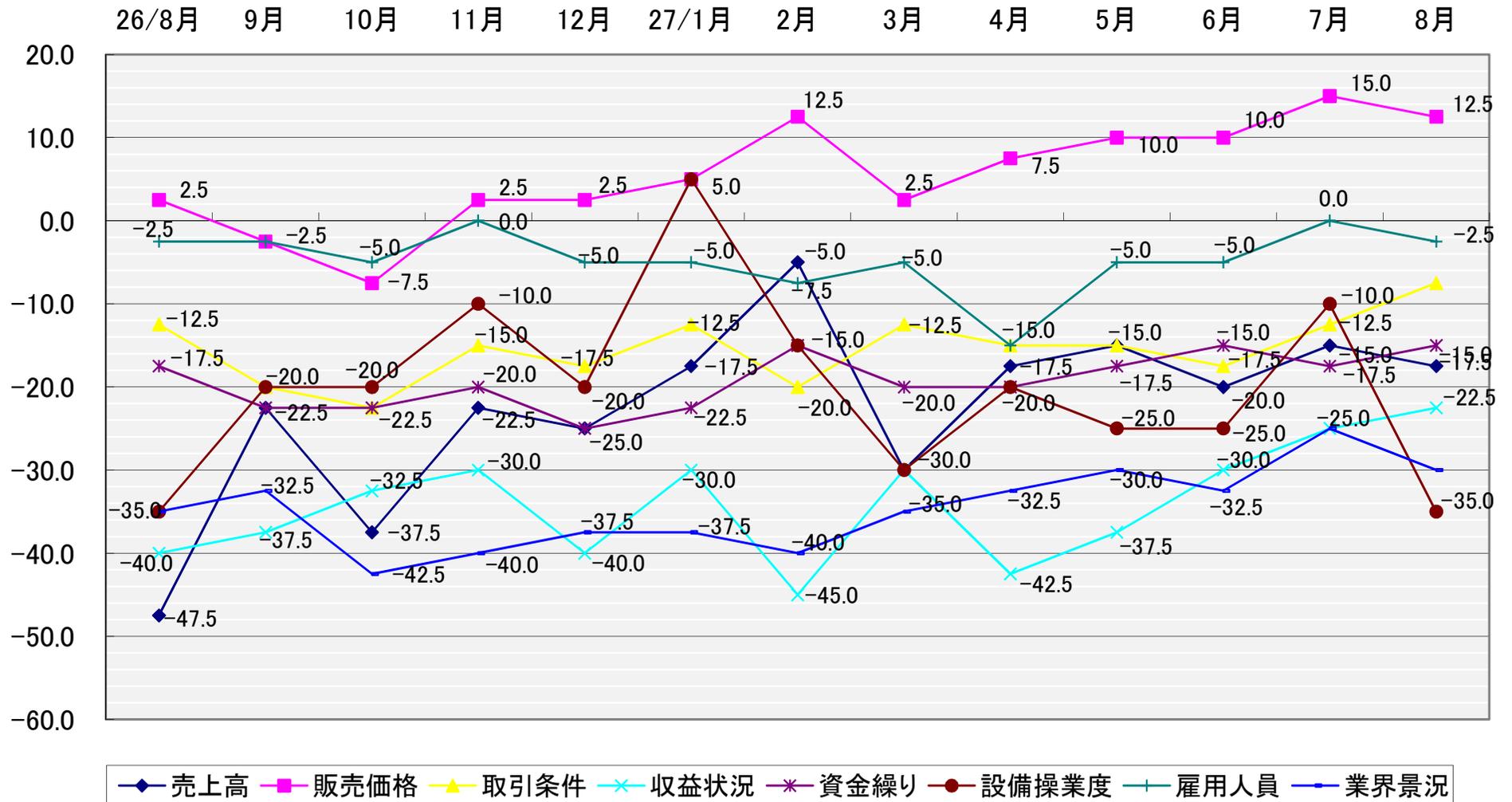
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	26/8月	9月	10月	11月	12月	27/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	増減
売上高	-47.5	-22.5	-37.5	-22.5	-25.0	-17.5	-5.0	-30.0	-17.5	-15.0	-20.0	-15.0	-12.5	2.5
販売価格	2.5	-2.5	-7.5	2.5	2.5	5.0	12.5	2.5	7.5	10.0	10.0	15.0	7.5	-7.5
取引条件	-12.5	-20.0	-22.5	-15.0	-17.5	-12.5	-20.0	-12.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	-12.5	0.0
収益状況	-40.0	-37.5	-32.5	-30.0	-40.0	-30.0	-45.0	-30.0	-42.5	-37.5	-30.0	-25.0	-25.0	0.0
資金繰り	-17.5	-22.5	-22.5	-20.0	-25.0	-22.5	-15.0	-20.0	-20.0	-17.5	-15.0	-17.5	-15.0	2.5
設備操業度	-35.0	-20.0	-20.0	-10.0	-20.0	5.0	-15.0	-30.0	-20.0	-25.0	-25.0	-10.0	-35.0	-25.0
雇用人員	-2.5	-2.5	-5.0	0.0	-5.0	-5.0	-7.5	-5.0	-15.0	-5.0	-5.0	0.0	2.5	2.5
業界景況	-35.0	-32.5	-42.5	-40.0	-37.5	-37.5	-40.0	-35.0	-32.5	-30.0	-32.5	-25.0	-25.0	0.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



	集計上の分類業種	具体的な業種	組合及び組合員の業況等（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）
製造業	食料品	醤油味噌	中国経済の悪化によってか、一時円高傾向となり、また戻りつつあるが、改善までは望めない。特に変化もなく相変わらず低調である。10月1日は「醤油の日」で、品評会の表彰式などがある集いが東京で行われる。
		豆腐	原材料費が上昇して製造原価を押し上げているが、県外から商品が入ってきており、価格競争が厳しく、商品価格への転嫁が難しい状況である。
		麺	業界内で伊勢うどんの試食会を行い、今後伊勢うどんの食感・弾力・やわらかさ等、業界の商品統一に努めている。
	繊維工業	テントシート	自動車メーカーの低迷により、特に中・北勢地域では景況の悪化が大きい。
	木材・木製品	木材	昨年の消費増税後の市場の冷え込みは続いており、住宅着工件数が伸びていない。
	紙・紙加工品	紙器段ボール箱	景況感は年度当初より変化なく、低調で推移している。中小のユーザーに対する取引額の減少が目立つ。
		古紙	8月期の仕入量は、前年比で段ボール：約92±5%、新聞・チラシ：約89±5%、雑誌・雑紙・その他合わせて：約90±5%の中での推移と思われる。思いのほか集荷が悪く、理由もわからず不安が募る。少子高齢化、人口の減少、携帯型情報収集端末（スマートフォン等）の使用による情報用紙の減少は、段ボールや紙の生産減となっており、夏物の需要も終わり、残暑期待の段ボール古紙の発生は期待できず、今年は短い夏であった。早い秋から消費が増え、冬が来て冬物販売と歳暮商戦に期待したい。古紙の集荷方法の多様化や業界のボーダレス化と集荷形態や取引先により段ボール古紙の集荷は大きな格差がある。新聞古紙や雑誌古紙は非発生時期と上記の理由で激減すると推測している。今のところ何とか経営を続けているが、非常に難しい状況で不安が募る。
	印刷	印刷	例年通り夏場は需要が減少した上、この春に値上がった材料費を販売価格に転嫁できない厳しい業況が続いている。組合活動としては、県民手帳の版下作業がようやく完成し、今後PR・販売調整・予約販売等に取り組んでいく。
	窯業・土石製品	伊賀焼	8月は昨年度と比べてやや増加傾向で、売上も少し増加している。季節柄、土鍋や食器などが少し売れたようである。今後も秋に向けて土鍋や食器が売れる事を期待する。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は7月同様で低迷した状態が続いているが、取り扱う製品、独自技術等、特色のあるものは伸び、通常何処でも扱えるものに関しては減少と二分化されている。半導体関連は7月同様に顕著に推移してきたが、8月半ばから徐々に減少し、見通しは不明である。特に半導体業界は波が大きく、海外の動向にも左右される。
	一般機器	北勢	中国経済の停滞や我が国の輸出不振等々、加えて世界同時株安等、個人消費も伸び悩み、景気の踊り場感が強い。やや仕事量が減少したとの声も聞く。自助努力に拍車をかけねばならない。
		北勢	繊維工業は業種的に下降傾向が続いているものの、特に円安による原材料の上昇が大きく影響し、収益を圧迫している。原油安による電気料金の上昇は若干プラス要因でもある。
		南勢	中国、東南アジアの景気減速の影響が気になる。特に自動車の販売が低調で、末端の自動車部品製造業への影響を懸念している。
	電気機器	南勢	夏枯れ状態が続き、一向に景気の回復感が伝わってこない。足踏み状態になっている。
輸送機器	北勢	鈴鹿市内の大手自動車メーカーでは夏休みを当初予定よりも増やすなど、相変わらず生産調整が続いているが、10月以降は休日振替をして生産数の挽回を予定している。	
非製造業	小売業	青果	野菜は前半は猛暑で全般的に生育が鈍り、特に長野・群馬ではひょうが降り、キャベツ・レタスに被害が大きかった。安定しているのはトマトであった。後半は北海道産ジャガイモ・玉ねぎは入荷が増加し、価格も下りそうだが、北海道産大根・人参・カボチャは不作であった。盆前は果物が一番売れる時だが、全体に入荷が少なく、価格も高い。西瓜は猛暑のため昨年の価格より2倍となった。後半も入荷が少なく、価格も高いが、梨は豊水、リンゴはサンツがる、みかんはグリーンハウスと種類が豊富に入荷してきた。

非製造業	小売業	自転車	台風、猛暑、自動車関連会社等の長期盆休みもあり、街行く人が自転車で走る姿はほとんど見受けられなかった。それにより、商品の需要はまったくなく、ほとんどのショップは防犯登録台数ゼロであるとの声が多く聞かれた。そんな中10月に愛知県で自転車安全整備制度推進ブロック会が開催される。今年対象となる整備店（A・G記号店）、多くの組合員は大量更新年となる。条件（販売台数、点検台数）が満たされているかどうか、事務局側として不安を感じている。
		家電	梅雨明け後に猛暑が到来し、夏物商品（エアコン・扇風機）や白物家電製品はお盆まで好調に推移してきた。地域電器専門店では、受注商品の早期取り付けをするため、日夜エアコンを中心に工事・配達に追われ、時間との闘いの日々であった。8月後半は、天候不順もあり急転し、商品の動きは鈍い状況である。8月の販売状況は、夏物商品が好調であったため、二桁アップの見通し、エアコンの在庫も減少見込みである。課題はテレビを中心とした映像関連商品の取り組み強化である。リオオリンピックを来年に控え、オリンピック年にはテレビの需要が大幅にアップすると見込まれており、買い替え需要の促進が重要である。併せて年末にむけ太陽光発電やリフォーム需要の獲得についても取り組み強化が必要である。
		石油	8月の全国ガソリン出荷数量 9日～15日の盆商戦期間は前年対比127%と大幅に増加した販売であった。記録的な猛暑と割安な価格が今夏のガソリン需要を押し上げ、SS業界は久しぶりに経営内容の改善があったと思われる。三重県の燃料油販売状況は前年比108%前後の増販であるが、販売価格競争の影響により、収益が中々改善しない状況である。9月以降においても油外商品等の販売強化を行いたい。
		スポーツ用品	伊勢志摩地方では2016年のサミット会場となり、何かと話題になっているが、これがスポーツ用品の小売業界に直接好影響を与えてくれるとは思えない。“風が吹けば桶屋がもうかる”式にいつかその儲けが我々の業界にも流れ着くかもしれないが、夏休み中だったので、8月の業況としては低調であった。
商店街	熊野	毎年第一日曜に商店街内で開催される和太鼓フェスは今年で20年目を迎え、大勢の観客で賑わった。併催イベントとして開催されたビアガーデンと物産展も昨年以上の売上で大いに盛り上がった。また17日に開催の熊野大花火大会は荒天のため順延され、同商店街内で開催予定だった郷土くまの物産展もあわせて翌日に順延された。平日の順延ということもあり、主催者発表の来場者は従来の3分の1程度の7万人となり、物産展をはじめ、各物産施設や店舗等にも大きく売上の落ち込みをもたらした。	
	旅館	好天に恵まれ、暑い日が続いたことで各地のビーチや遊園地は賑わっていたようである。昨年と違って台風によるキャンセルもなく、前年を上回る集客があった。来年のサミット開催地の賢島を見てみたいという客が多かったためか、賢島⇄鵜方間の国道が終日渋滞していて、沿線の住民は驚いていた。2学期の始業が1週間早い学校があるためか、最終の週は少し空室があった。	
サービス業	飲食業	近年、食物アレルギーによる食中毒事故等が多いと言われ、学校給食や外食を含む情報の提供が事業者側の責務とされているところである。外食店においては適切かつ正確な情報を表示等により伝えることにより、消費者が安心して外食を行うことができるよう、組合としても組合員に対して情報提供に努めることとしている。	
	建設業	内装工事業 水道工事業（北勢）	8月も引き続き売上等の状況は好調で、前年対比も増加となった。9月は盆明けなどによりこの流れが一時的に止まる可能性がある。 今月に関しては特段大きな変化は見られないが、協会会社への発注価格の上昇は前月同様続いている。このコスト上昇分のすべてを受注価格に転嫁できていないと思われる。
運輸業	トラック	例年通りお盆の期間、企業の集中休業もあり、荷物の輸送量は減少した。消費者関係の荷物輸送量は前年並みで推移している。	

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	今後、伊勢・志摩サミットに向けて業界をあげて取り組んでいく。
一般機器	北勢	安保問題がこの国の重要課題ではない。日本を取り巻く経済環境の改善に一層の注力を望む。
	南勢	マイナンバー制度導入において、あまり企業（特に資金力のない中小・零細企業）に負担をかけないようにしてほしい。
小売業	スポーツ用品	8月、テニスコートの砂の入札の件で、不正があったと聞く。納入・支払等が完了しているので、明らかな不正の入札であるのに、専務の責任が個々の事務職員に及ぶと困る等の理由で曖昧なまま終わった。入札制度の弊害である。
サービス業	旅館	旅館ホテル組合にとっては喫煙者・非喫煙者とも大切なお客様と考えている。お客様への「おもてなし」として分煙を推進している。館内に喫煙所を設置する際に助成金等の制度があるようだが、この制度を使っている施設は少ないようなので、早急に関係機関より指導をいただきたい。